

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますのでお知らせいたします。

研究課題名： 経皮的冠動脈インターベンションを施行された患者における冠動脈石灰化病変の経時的変化 -光干渉断層法を用いた検討-

研究の目的

心臓の血管(冠動脈)に存在する骨のように固い動脈硬化の一種である石灰化病変に対するカテーテル治療(PCI)は手技的に複雑なことが多く、またその臨床転帰は不良であると報告されています。石灰化病変の経時的変化に関して、血管内超音波検査(IVUS)を用いた研究は多く報告されているが、より詳細に解析可能なイメージングデバイスである光干渉断層法(OCT)を用いて解析・検討した研究は多くありません。

本研究はOCTを用いて石灰化病変の経時的変化を解析することを目的としています。

研究実施期間： 2023年4月28日～2026年3月31日

対象となる方： 2015年1月1日から2024年3月31日までに弘前大学医学部附属病院で緊急あるいは待機PCIを受けた患者様で、急性期と慢性期の2つの時点で冠動脈内OCT撮像が行われている患者様が対象です。

利用させていただきたい試料・情報について

本研究対象者の診療記録から、患者背景や治療歴や服薬歴、血液検査のデータなどを標記研究課題実施のために利用します。また、記録・保存されている研究対象者のOCT画像から石灰化病変の解析を行い、そのデータを同様に利用します。

具体的には、急性期と慢性期において石灰化に関する様々なパラメータを比較し、変化量や変化率を求めることを目的とします。また、石灰化の変化を規定するような予測因子があるかどうか、統計学的手法を用いることで明らかにしたいと考えています。

なお利用にあたっては、氏名・住所・電話番号・患者番号など個人を特定できる情報は削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から個人が特定される事はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡をいただいた時点で既に研究成果公表済の場合は該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますのでご了承願います。

本件連絡先

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 相馬宇伸

電話番号：0172-39-5057 メールアドレス：h20gm114@hirosaki-u.ac.jp